

第22号

毎月発行

結いの会 会報

2012年11月27日 発行

発行者 特定非営利活動法人 結いの会
〒907-0024 沖縄県石垣市宇新川 2138-5
就労継続支援事業所 いこいの家
〒907-0022 沖縄県石垣市宇大川 1243-1
電話(Fax) 0980-84-1636 携帯 090-8293-9462
ホームページ <http://koi.xii.jp/>
メールアドレス yuinokai@mco.ne.jp

中元先生を迎え勉強会

いこいの家では去る11月7日、八重山病院こころ科の中元幸治先生を講師に迎え勉強会を開催した。

今回は薬の役割、種類、副作用について教えていただいた。薬の役割については、活発になりすぎた脳の働きを調整する事。薬を飲むことで回復のために必要な睡眠と休養が取れるようになること。症状が落ち着き安定したら、個人差はあるが薬の量は徐々に減って行くこと。また再発をふせぐために体に負担にならないように少量にして飲み続けることが大切である事等が話された。みんなからも質問が活発に出て有意義な時間でした。

川崎裕子



交流の日

23日の交流の日、いこいの家は、ぜんざい作りを楽しんだ。ドラム缶の釜にしんめ一鍋をのせて、マキをくべ火をおこす。豆を煮ながらもち粉で団子を作り沸騰した鍋に投入、浮き上がったらぜんざいの出来上がり。

毎回訪れてくれるO君も一緒に、冷やり秋の気配の漂う中食べる、温ったかぜんざいは格別でした。 加勢本多代子



空気穴

ぜんざい作りの火がくすぶってなかなか燃えない。どうしたものかと焦っていると、Hさん曰く、「空気みー(穴)が無い」、で1件落着。「さすが湯風呂屋一の倅」と感心されています。 編集 加勢本多代子

病棟祭

11月21日、恒例の八重山病院こころ科作品展が、こころ科病棟で開催された。

今年も我が「いこいの家」は日々制作に取り組んできた自信作を展示販売しました。中でもきれいな廃食油で作るエコ石けんや、カラフルな毛糸で編んだアクリルタワシは「去年使って、よかったから又買いにきたよ」というお客様が結構いました。

又、いこいの家で藍を栽培して染料を作り染めた、藍のかりゆしウェアや、藍のショールやハンカチ、島の福木、たまねぎの皮、ヨモギ等、天然の染材で染めた赤や黄緑の色鮮やかな絹のショールは、プレゼント用やご自分用にと女性の方に人気でした。男性の方も興味をもたれてながめていました。来年は、もっと多くの事に挑戦したいと思っています。作品展が楽しみです。 又吉美紀子



やらぶの会定例会のお誘い

八重山精神療養者家族会は、毎月第3火曜日3:30分よりサポートセンターどりいむで定例会を行っています。同じ悩みを持つ家族同士で話してみませんか。初めての方もお気軽にご参加ください。 連絡(090-8293-9462大濱)

結いの会 会員募集

結いの会では、会員を募集しております。 当会の趣旨にぜひ賛同下さり、支援お願い致します

- 会費
 - ◎正会員 年会費 個人一口 1,000円 団体一口 5,000円
 - ◎賛助会員 年会費 個人一口 500円 団体一口 3,000円
- 振込先
 - ①琉球銀行 八重山支店 普通 784827
 - 口座名義: 特非) 結いの会 理事 大濱守哲
 - ②郵便振替: 01720-4-87156
 - 口座名義: トクビ) ユイノカイ